

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
H202	経済史Ⅱ	2年	講義	2	安藤哲
授業概要 ヨーロッパにおける社会経済の変遷を、中世社会の崩壊から近代社会までとり、人間が生きていくための経済の仕組みと人間の活動について理解を深める。					
到達目標(学習の成果) 人間が生きていくために必要なエネルギー(食糧など)の生産と消費のシステム、交換・交易の仕組みは時代とともに変化して行くが、次第に豊富な商品(物資やサービス)が追加的に生産・消費されて行くようになる経済的、技術的背景と歴史的な変化を知り、複雑化している私たちの暮らしを大局的に腑分けし理解を深めていく際の、基礎となる専門的な知識を身に着けることをめざす。					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	経済史Ⅱで学ぶこと	アジアを含む地球全体へ影響を及ぼして行く、ヨーロッパの社会と経済を学ぶ意義を理解する			
2	古典荘園制の経済と崩壊過程①	古典荘園制下での技術改良と農業生産力の増大			
3	古典荘園制の経済と崩壊過程②	商業活動の活発化と沿岸商業都市の成立			
4	古典荘園制の経済と崩壊過程③	二大商業圏の形成と連関、一内陸商工都市の発展			
5	古典荘園制の経済と崩壊過程④	農村と都市の分業と交易、一地方市場の形成			
6	古典荘園制の経済と崩壊過程⑤	世界貿易の展開			
7	古典荘園制の経済と崩壊過程⑥	市場統一を求める力、一絶対王制の成立			
8	絶対王制下の経済①	重商主義という経済思想の登場、一アダムスミスの見解			
9	絶対王制下の経済②	イングランドの挑戦と国際貿易構造の変化			
10	絶対王制下の経済③	価格革命と村落共同体の弛緩			
11	絶対王制下の経済④	西ヨーロッパ商業資本の発達			
12	資本主義の精神と産業資本の成立①	産業革命とはなにか			
13	資本主義の精神と産業資本の成立②	追加的エネルギーとイノベーション			
14	資本主義の精神と産業資本の成立③	農業革命と産業資本の成立			
15	資本主義の精神と産業資本の成立④	アメリカの経済発展			

準備学修(授業外の自己学修)

- 1 毎授業時に配布する資料をよく読み、不明な点を調べ、次授業での質問に答えられるようにする
- 2 授業中にとりあげる用語は、調べ直しを通して深く理解しておくこと

成績評価の方法・基準(%表記)

期末テスト(100%)

観点	S	A	B	C
商品が豊富になり交易が盛んになる関係と課題がわかる	関係がわかる	関係がほぼわかる	十分に関係がわかる	関係が一定程度わかる
生産の技術と仕組みは変化することがわかる	よくわかる	ほぼわかる	十分にわかる	一定程度わかる
歴史用語と知識が身についている	身についている	ほぼ身についている	十分に身についている	一定程度身についている

教科書

使用しない

参考書等

毎授業時に資料を配布する

履修上の注意・学修支援

授業内容は相互に関連するので欠席しないよう心がける、座席は任意ですが固定します

なお、準備学修や復習を通して生れた疑問や理解できないことについては、授業後質問すること